

平成 26 年度 厚生労働科学研究費に係る利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 27 年 3 月 31 日

研究課題名：高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアルゴリズムの
開発、および経口摂取状態の改善効果の検証

分担研究者：リハビリテーション学 教授 椿原 彰夫

川崎医科大学 リハビリテーション学教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として企業からの奨学寄附金・研究助成金があるが、これらは当学園にて受け入れ、管理されている。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査を行い、適正に管理されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 25 年度における奨学寄附金の提供団体および研究助成金の提供団体を以下に示す。

企業名：グラクソ・スミスクライン株式会社、トヨタ自動車株式会社